

【7月の行事】

14日(日)	午前 9:00	長寿会がラウンドゴルフ大会(発電所)
16日(火)	午後 2:00	ミニデイサービス(体操&ストレッチ)
【その他の行事】 5日:うるま市市民総決起大会/13・14日:うるま市総合文化祭(舞台の部) / 21日:参議院議員選		

【8月の行事】

9日(金)	午前 8:30	夏休み体験学習(泥んこ遊び、他)
13日(火)	午後 2:00	EMゆがふ会
14日(水)	午後 5:00	子ども会 道ゾネ(旧盆イサ)
20日(火)	午後 2:00	ミニデイサービス
25日(日)	午前 9:00	長寿会ゲートボール大会(公園)
【その他の行事】		

【9月の行事】

17日(火)	午後 2:00	ミニデイサービス(室内レク)
調整中	午前 9:00	長寿会美化活動
調整中	午後 5:00	敬老会
【その他の行事】		

「手づくりの会」活動計画

6月	11日	布バック作成
	25日	
7月	9日	ペーパークイリング作成
	23日	
8月	下旬	料理教室
9月	10日	パッチワーク・着物リメイク
	24日	
10月	8日	小物作成
	22日	
11月	12日	
	26日	
12月	10日	

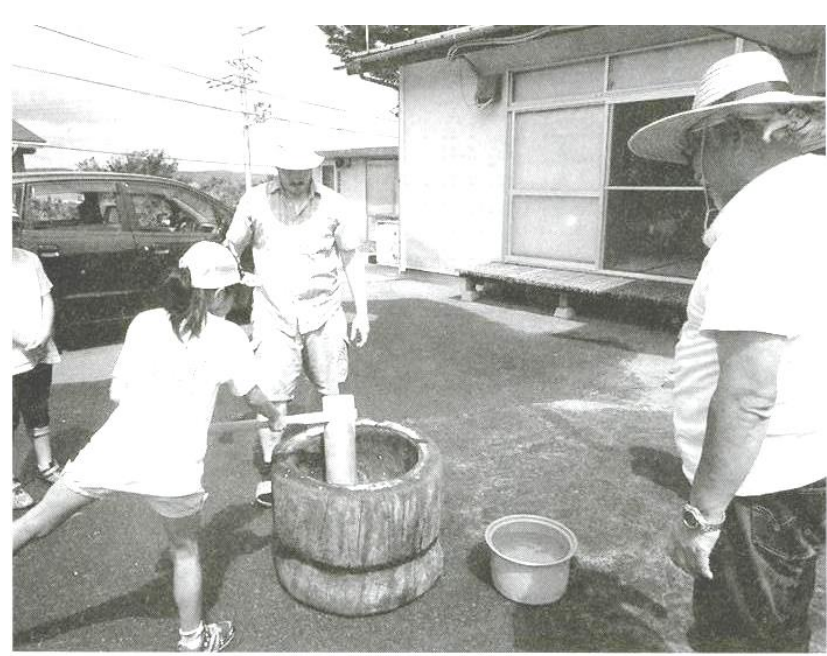
益南風
雷鳴&豪雨の後は、炎天の梅雨明けになりました(汗)。今年はエルニーニョが発生するとのこと。本県への台風接近は、北側にずれののでは?どうなるのか?
イヨイヨ、暑い夏です。熱中症には十分に気を付けてください。夏野菜を食べて乗り切りましょう。

梅雨湿り洗たく物家中に
句集『舞扇』(RII作)
大雨の梅雨でした! コインランドリーが繁昌したかも? さて、暑くなるぞ!
「うけんまつり」の実行委員会が動き始めました。
1. 実行委員会のメンバーを募集しています。左記の日程で話し合いを持ちますので、ご遠慮なく、参加してください。公民館に問い合わせてもいいですよ。
2. 景品を集めています。
今年も抽選会を行います。ご家庭で眠っている品物を公民館までご持参下さい。



自治会勉強コーナー (このコーナーは面白いな、すごいな~と思った地域を紹介)

限界集落の社会貢献
宮城県石巻市 網地島ふるさと楽好
設立経緯および目的
この楽好(がっこう)は、宮城県や石巻市から委託されたものではなく、島の方々が自主的に自分たちで考え、バス代やチャーター船の船代を民間団体の助成金も活用しながら、毎年開校している。経費を削減するため、海で採れた食材(うに、あわび、ひらめ等)を島民から提供してもらっている。楽好は多くの方々の温かい善意から成り立っている。この善意を子どもたちに「幸せ」として配り続けて行きたいと考えている。
毎年、子どもたちの笑顔を見るために、島のお年寄りがたくさん参加して、獅子踊り、郷土料理づくり(うにの殻剥き、つぶ貝剥き、ひらめのおろし等)、餅つき、スイカ割り、網地島だけの魚釣りである「アナゴ抜き」。シーカヤックを教えながら交流している。子どもたちの笑顔が、網地島のふるさとづくりを進める大きな原動力となっており、お互いに良い効果を生んでいる。
網地島ふるさと楽好の体験メニュー
○島の食事づくり
島のおいしいさんやおばあさんは、「島には何もなくて、こんなものしか出せない」と言いながら、たくさん天然のうにやあわび、とてもおおきなひらめを出してくれる。うにやあわびは動き出し、子どもたちは不



子どもたちがお餅をついています

思議そうにいつまでも見つめている。ひらめも、朝捕ってきたばかりで、籠の中で暴れ、子どもたちは大騒ぎだ。児童養護施設では、食中毒を出さないようにと、お刺身等は一切出さないそうだ。普段食べ慣れないお刺身を「おいしい、おいしい」と子どもたちはお腹いっぱい食べる。子どもたちはうにが大好き。一人で一〇個ぐらい平気で食べる、あわびを一二個平らげ、あわびの肝までおいしそうに食べた女の子は「将来、海女になれば、大儲けできるぞ」と島のおいしいさんから誘われていた。
料理を作っていると、子どもたちが「お手伝いさせて」と近寄ってくる。楽しく会話しながら、一緒に料理を作り、みんなで楽しく食べることを網地島ふるさと楽好は大切にしている。

宇堅子ども会からのお知らせ

備考	8月	7月	6月	
①練習日時: 金(7:00~8:00) ②雨天時: ホールで練習 道ゾネは中日(8/14)			4日開始	エイサー
①実施日: 月~金(土日休み) 6:30開始 ②場所: 公民館、大洋建設 ※最寄りの場所へ	← 23日	← 22日		ラジオ体操
①実施日: 月~金(土日休み) 9:00~11:30 ②場所: 公民館 ※ボランティア募集です。高校生・大学生大歓迎	← 23日	← 22日		勉強会
※久しぶりに北部ピクニック ※見守り役の保護者募集(懇談しよ~!)	★9日: 体験学習	★27日: 天小祭り		体験学習

健診日程
うるみんでの集団健診日程です。宇堅の指定日は6/28ですが、それ以外の日も受診できます。個別健診(医療機関に予約)もあります。
注意: 保険証を持参すること
※受付: 午前=8:30 / 午後=1:00

6	14日(金) 18日(火) 19日(水) 27日(木) 28日(金) 宇堅	11	25日(月) 26日(火)
7	21日(日)	12	7日(土) 8日(日)
8	24日(土) 25日(日)	1	21日(火) 22日(水)
		2	2日(日)

「区長のドゥッキネ、カム」(編集後記)
連日30度超えの夏日和。水分・ミネラル補給、睡眠、食事をしっかりとすね。今のところ台風は接近せず、安心です。一方、西日本では記録的な豪雨。気象庁も警戒を呼び掛けています。
一年前の西日本豪雨災害では、「井空白の66時間」! 気象庁の異例の緊急会見にも関わらず、自民党(安倍総理官邸)が宴会開始、災害が発生中も飲んでワイワイ! 約3日後に飲みつかれた顔でようやく「非常災害対策本部」設置。予算委員会は4月以降開催されていない(野党の規定に沿った手続の要求に関わらず)。そのまま参議院議員選挙。民主主義の形も壊されています。
「身体の言い分」(内田樹&池上六郎著/毎日文庫)。一部には共感するが、大半の内容は???でした。



(5月末)	宇堅(外国人除く)	うるま市全体(外国人含む)
人口(男/女)	1,216(637/579)	9(1/8) 124,063(62,361/61,772)
世帯数	472	— 52,945 93

「宇堅守の会」メンバー募集中
主な目的は、見守りの必要な方(高齢者世帯など)の把握、見守りや、減災・防災等の取り組みです。無理しない活動を進めています。
お問い合わせ: 公民館まで
【定例会】 ◆偶数月の第2木曜日 午後2時

救急医療情報キット
高齢者の万一の緊急事態に備えて。
①かかりつけ病院
②緊急連絡先
③持病
④診察券(北^-)
⑤健康保険証(北^-)

SOSネットワーク事業
認知症高齢者の搜索のための事業です。登録することで、迅速に搜索活動ができます。

戦後74年の「慰霊の日」 ~2019年 6月23日~



次の世代にも継承する平和の願い。過去の人間の過ちを学ぶことが大切。



今回は雨天の影響で公民館ホールにて開催しました。雨にも関わらず約50名の参加者がありました。誠にありがとうございました。

先月号で紹介した通り、宇堅の戦没者の人数は他の自治会に比較して多い。ほとんどは南洋での戦死です。移民が多かった集落です。

平和記念公園においても、祈りがささげられました。



黙祷（正午）と焼香。
牛島司令官の自死とその後の戦災を忘れてはならない。



慰霊塔の方向へ祈りを捧げました（お通し）。



「区内清掃」 ~2019年 6月9日~



雨が心配でしたが、暑くなくいい清掃日和になりました。参加された皆さん大変お疲れさんでした。ありがとうございます。

住環境を管理することが自治会の基本的活動だと思います。より発展的には、緑と花で彩られた環境を創りあげると素晴らしいと思います。

今回は、天候のせいもあって組んお参加が少ない状況でした。次回は是非ご参加下さい。



【参加者 記名者のみ】 記名者のみです。

(1班) 名護千三	(4班) 前田能成	久田友保 (5班)	(6班) 湧田森義	大原清 (9班)	(10班) 當山善助	(13班) 比嘉一信
(3班) 新城清榮	花城幸夫	山城幸和	金城政市	糸満盛金	(11班) 照屋寛致	うるまの里(7)
知念秀夫	知念光子	長堂英明	(7班) 金城睦信	森根政助	知念正英	三成工業(3)
安慶名行次	大城敏雄	平安名孝盛	徳元盛吉	金城浩	(12班) 平川善次	火力発電所(7)
平川キヨ子	大城セツ	知念秀樹	(8班) 香村忠雄	栄野川盛勇	照屋トミ	沖縄プラント(13)
	大城勝一	西田勝博	翁長敏雄	栄野川悦子		
	大城節子	具志堅保				
	新城眞一					

未来に向かって

一九四五年八月十五日終戦の日
戦争という名の悲劇から 五十七年経った
今日も平和に向かって 時を刻む音がする
しかしまだ「戦争」は 終わってないのかもしれない
一九七二年五月十五日 沖縄本土復帰の日
その日を前に 先生が「平和」について熱く語る
私は「平和」について 真剣に考える
みたことのない戦争を 想像してみる
すると 真っ青に晴れた雲一つない空に 米軍機の爆音が響きわたる
先生の声は爆音に消され 生徒の目は音を睨む
戦争はまだ 「音」として残っていた
米軍基地の前を 家路に向かうフェンスを背に暑い日差しを浴びながら
輝く笑顔で子ども達が遊ぶ
フェンスの向こう側には 武装した軍人が立っている
日差しに照らされ 汗だくの顔で立っている

腕に持っている銃は 誰に向けるのか
私の目は 銃を睨む
戦争はまだ 「武器」として残っていた
五月晴れの 午さがり家族連れの人々
恋人同士 友人同士 人・人・人のあふれる中で
「めぐまれない人へ」のキャッチフレーズと共に
笑うことを忘れて
未来に怯えている少女の瞳が 私を見つめる
私の目は過去を睨む
戦争はまだ「傷跡」として残っていた
六月二十三日慰霊の日 祖父と祖母そして私
正午を告げる鐘 摩文仁に向かって合掌する
ふしくれた手 しわが刻まれた その頬に涙がこぼれ落ちる
その年老いた目が 見つめる先には何があるのか 私も見つめてみた
戦争はまだ 「悲鳴」として残っていた

名護愛 (2002年「児童・生徒の平和メッセージ展」 高校生の部最優秀賞)

「爆音」が消え 「武器」は葬られ
「傷跡」は癒され 「悲鳴」は静寂と化す
その時 戦争という名の悲劇は 幕を閉じる
地球に生きる人間 動物 自然が
互いの立場を理解し 強調しあった
その瞬間 「平和」はきっと生まれる
私は空を仰いだ 私は大きく息を吸った
私は遙か彼方を見つめた 私は未来を想像した
乾いた大地に 恵みの雨が降る 雨は上がり
空には 一筋の虹が見える
風が 大地をそっとなでる
その風は エイサーの音色とともに
人々の心を癒やし
広い海へ 広い世界へと吹きわたる
平和の意義を 響かせてゆく